

JACLaP WIRE No.85(2005年8月3日発行)

本メールは日本臨床検査専門医会の電子メール新聞 JACLaP WIRE No.85 です。

===== 目次 =====

【事務局からお知らせ】会員動向(2005年7月30日現在数685名, 専門医 488名)

【WHO トピックス】発展途上国で HIV 感染症の治療が進む

【Medical Academy News (M.A.N) 7月21日号】

===== JACLaP WIRE =====

【事務局からのお知らせ】

会員動向(2005年7月30日現在数685名, 専門医 488名)

【新入会員】

塩野さおり 先生: 順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院検査科病理

榊原綾子 先生: 名古屋大学医学部附属病院検査部病理

【所属・その他変更】

細川直登 先生: 旧 日本大学医学部臨床検査医学

新 亀田総合病院感染症内科

江口正信 先生: 旧 沼津市立病院臨床検査科

新 順天堂大学医学部附属練馬病院臨床病理科

大原智子 先生: 旧 自治医科大学臨床検査医学

新 栃木県庁保健福祉部健康増進課

堂本英治 先生: 旧 自衛隊横須賀病院

新 防衛庁海上幕僚監部衛生企画室

【会長・監事選挙について】

平成18、19年度の会長、監事選挙の投票は7月30日をもって締め切りました。
選挙管理委員会により開票され、結果が後日報告されます。

【振興会セミナーの報告】

第23回日本臨床検査専門医会振興会セミナーが以下のとおり開催されました。

約70名の出席があり、有益な講演と熱心な討論が行われました。

開催日時: 平成17年7月22日(金) 14:00~17:00

会場: 「東京ガーデンパレス」文京区湯島1-7-5 電話 03-3813-6211

主 題 名: 「臨床検査の新展開」

1. 在宅検査と郵送検査の現状と未来

岩澤 肇 先生 ([株]リージャー代表取締役CEO)

2. 企業の予防医学と臨床検査

堀川龍是 先生 (三菱重工[株]健康管理センター長)

3. 栄養管理と臨床検査

橋詰直孝 先生 (和洋女子大学家政学部教授)

4. 遺伝子検査の新しい流れ

船渡忠男 先生 (京都大学医学部保健学科教授)

情報交換会: 17:30~19:00(会場は同じく東京ガーデンパレス)

【総会・講演会のお知らせ】

今年度第2回目の総会・講演会が福岡で開催されます。第52回日本臨床検査医学会・第42回日本臨床化学会年会 連合大会に合わせて行われます。

後ほど、日程が確定次第、出欠の確認の連絡をいたしますが、御参集をお願いいたします。

開催予定会場：福岡国際会議場・第一会場

開催予定日時：総会 平成17年11月17日 午後3時～4時

講演会 平成17年11月17日 午後4時～5時

演題 「専門医制度について」

演者 日本医師会 常任理事

橋本 信也 先生

【会費納入について】

今年度もすでに7ヶ月がすぎました。多くの会員の先生方からは既に会費の振り込みを頂いていますが、まだお支払い頂いていない先生もいらっしゃいます。

日本臨床検査専門医会の活発な活動は会員の会費によって支えられています。未納の先生はお振り込みをお願いいたします。

会費の振り込み状況の確認は事務局までE-mailあるいはFAXでお問い合わせください。

【住所変更・所属変更に伴う事務局への通知について】

最近、住所・所属の変更にもなって定期刊行物、JACLaP WIREなどの電子メールの連絡が着かなくなる会員が多くなっています。

住所、所属の変更時およびE-mail addressの変更がありましたら必ず事務局までお知らせください。

所属、住所変更時は、本年度会費の振り込み用紙に記載するか、できればホームページから会員登録票をダウンロードしてそれに記載し、FAXあるいはE-mailでご連絡ください。

===== JACLaP WIRE =====

【Medical Academy News(M.A.N)】

薬事日報社提供

MAN 7月21日号

厚生労働省に輸血管理料(仮称)を要望

日本輸血学会など5学会、日本臨床衛生検査技師会

日本輸血学会をはじめとした5つの関連学会と日本臨床衛生検査技師会は6月30日、来年の診療報酬点数改定を視野に入れ、輸血管理料(仮称)の新設を求めた要望書を提出した。要望書では、輸血部門に専任の医師や臨床検査技師を置くなどし、輸血医療が適正に行われていると判断された施設は、一定の保険点数が算定できるようにすることを求めている。安全かつ適正に輸血医療が行われているかどうかの判断基準としては、各医療機関における赤血球製剤(MAP)と新鮮凍結血漿(FFP)の使用比率、医療機関の規模に応じて輸血部門に専任の医師・臨床検査技師を置いているかどうか、また、24時間検査体制が整備されているかどうかなどが考慮されるという。日臨技の小崎繁昭会長は、「過剰な輸血を防ぎ、医療費削減につなげるためには、輸血医療の専門家による一元管理が不可欠となる。そのためにも、保険点数上の優遇は必要」とした。

悪性胸膜中皮腫に増殖因子が関与
がん分子標的治療研究会：VEGFなどをターゲットに分子標的治療の可能性も

現在、社会的に問題となっているアスベストは、悪性胸膜中皮腫を引き起こすことが知られている。放射線治療や化学療法に対する感受性がほとんどなく、予後不良である上、未だ増殖・進展の分子機構がほとんど解明されていないのが現状。こうしたなか、最近では、悪性胸膜中皮腫でEGFR、VEGF、VEGFR 2などの過剰発現が報告されており、新たな分子標的として注目されている。6月30～7月1日まで、京都市の国立京都国際会館で開かれたがん分子標的治療研究会で、矢野聖二氏（徳島大学分子制御内科）は、悪性胸膜中皮腫の動物モデルを確立したことを報告。さらにVEGF、VEGFRをターゲットとする分子標的治療の可能性を示した。

LAMP法を用いた0157検出キットを発売
栄研化学

栄研化学は11日に、同社遺伝子増幅技術であるLAMP法を利用した食品、環境由来検体中の大腸菌0157を検出する「Loopamp大腸菌0157検出試薬キット」を発売した。価格は1キット48テスト分、5万4700円（貯法：-20℃で保存）。販売は富士通システムソリューションズ（03-5976-5879）のインターネットマーケット（<http://genome.e-mp.jp/>）を通じて行う。

カテーテル検査用「ソリューションパック」
テルモ：準備から在庫管理までワンアクション

テルモは6日に、ソリューションビジネスの第一弾として、医療チームを複雑な業務から解放し、患者のケアに専念できるカテーテル検査用「ソリューションパック」を発売した。数施設へのテスト販売から始め、下期から全国への展開を予定している。希望価格は1セット4万円から6万円（病院ごとにカスタム可能）、07年度の販売目標は約30億円を見込んでいる。

同製品は、医療機関で施術される血管内カテーテル検査の動作を綿密に分析し、検査にかかわる業務である準備、検査、廃棄、在庫管理までの各過程をワンアクションで実現できるようにシステム化した。このため、パックを開封するだけで準備が完了し、緊急時や検査症例の変更に素早く対応でき、経験の少ないスタッフも医療業務に迅速に対応できる。

===== JACLaP WIRE =====

【WHO トピックス】発展途上国でHIV感染症の治療が進む
<Press June 2005 WHO-187>

WHOとUNAIDSの報告によると発展途上国でHIV/AIDSに対し抗レトロウイルス治療(ART)を受けた人数が、2003年12月の40万人から、2005年6月には約100万人に増加したが、目標としている2005年度末300万人の治療計画は達成できそうもない。アフリカのサハラ砂漠以南の最もHIV感染率が高い地域では、2004年6月に比べ、3倍の約50万人がART治療を受けた。2番目に多い感染地域であるアジアでは、2004年6月に比較して、3倍の155,000人が治療を受けた。治療を受ける人を増やすためには、治療法の単純化、標準化が重要であると同時に、治療だけではなく感染防御手段も同時に行うべきであるとしている。今回の報告ではHIV/AIDSに対し、ARTを促進するために

政策上、財政上、技術上におけるサポート体制を強化することが重要である。政策上では HIV/AIDS の治療対象となる発展途上国 49 か国で、そのうち 46 か国が治療を国の目標に定め、34 か国は完全実施をめざしている。現在の問題は薬剤費が高く、今後 3 年間に HIV の治療と予防に 270 億米ドルが必要な点である。

(獨協医科大学越谷病院臨床検査部 森 三樹雄)

=====

JACLaP WIRE, No.85 (2005 年 8 月 3 日発刊)

発行：日本臨床検査専門医会 [情報・出版委員会]

編集：JACLaP WIRE 編集室 編集主幹：満田年宏

TEL:045-787-2721・FAX:045-786-0392

本 WIRE の記事購読(配信・停止)・広告等に関するお問い合わせ先

E-mail : uys-com@umin.ac.jp

日本臨床検査専門医会事務局(入会・退会)に関するお問い合わせ先

mailto:senmon-1@jaclp.org

日本臨床検査専門医会ホームページ

<http://www.jaclap.org/>

JACLaP WIRE バックナンバー

<http://www.jaclap.org/wire/index.html#TOP>

@マークは 2 バイトで表示しています。

・ 84 号より " Medical Academy News(M.A.N) " の記事紹介が始まりました。

提供は、薬事日報社です。

・ 提供会員の皆様からの寄稿をお待ちしております！

メーリングリスト配信先の変更には

1. 氏名, 2. 現行登録アドレスと 3. 変更希望メールアドレスを添えて

uys-com@umin.ac.jp まで「配信先の変更希望」としてお送り下さい。
